

# Field IoT Gateway OPC UA Server

1

## IoTデータの標準化

異なるベンダーの機器でも、同じデータ形式で取得が可能です。IoT化を加速させます。

2

## 既存設備にジャストフィット

ゲートウェイを接続するだけで、既存の設備がOPCUA対応に。

3

## 上位システムから設備を直接制御

機器からデータを取得するだけでなく、既存の管理システムから機器を操作することも。

異なるベンダーの機器でもOPCUAで通信を統一。上位システムのカスタマイズ費用が削減できます！

### 履歴値の取得が可能！

Field IoT GatewayにはOPCUAのヒストリカルデータアクセスを標準搭載。

OPCUAクライアントを使用して、上位から一定期間の過去の履歴を取得・閲覧することができます。

保存期間は設定画面から調整できるので、ストレージ容量の少ないPCでも動作させることが可能です。

### 品質管理システム など

### データモデルを自由にカスタマイズ！

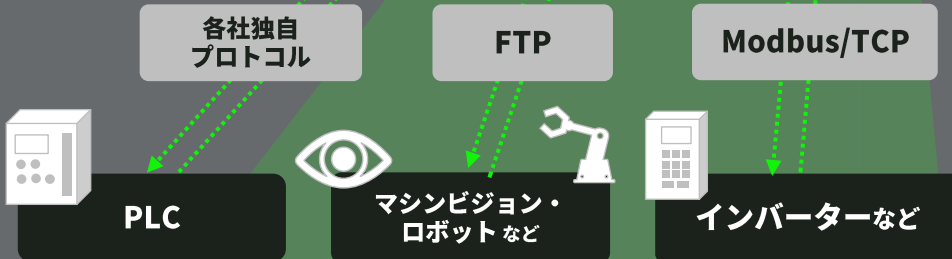
Field IoT GatewayはOPCUAで公開するデータモデルを自由に設計可能。現場のニーズに合わせて、自由に設定できます。

## Field IoT Gateway OPC UAサーバー

### アドレス空間

### 様々な通信プロトコルに対応 ファイルのやりとりも可能！

通信プロトコルは、OMRON FINS MCプロトコル / FTP Client / Modbus TCPに対応。様々な制御機器と接続できるので、マシンビジョン・アームロボット・インバーターなどの様々な機器を一括管理できます。

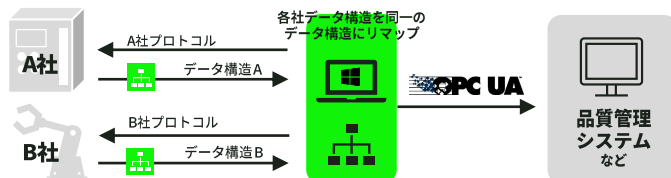


### ● Field IoT Gateway 導入前



異なる通信方式・異なる構造の解釈

### ● Field IoT Gateway 導入後



通信方式を統一・データ構造を統一

### 主な機能

- ・各社フィールド機器との通信およびデータの解釈
- ・各社フィールド機器から取得したデータ公開するOPCUAサーバー
- ・OPCUAに準拠したデータの取得

### システム要件

対応OS : Windows10・11  
 対応プロトコル : OMRON FINS プロトコル / 三菱 MCプロトコル・3Eフレーム / FTPクライアント / Modbus TCP

製品紹介ページ

<https://www.another-ware.co.jp/field-iot-gateway-provider/>



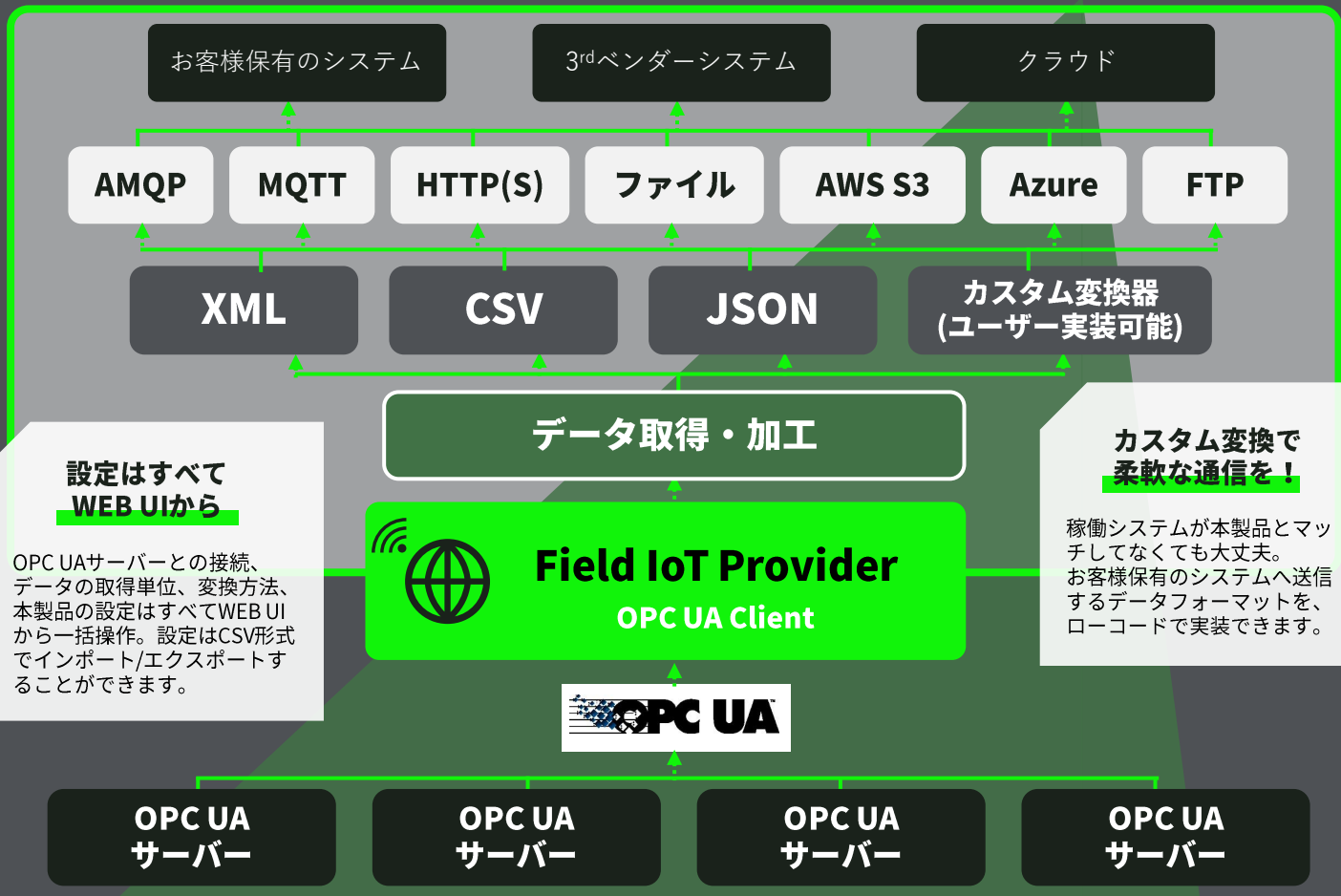
# Field IoT Provider OPC UA Client

- 1 ベンダーロックインを解除**

OPC UAはあらゆる設備に搭載することができるよう設計されている世界標準の通信規格です。OPC UAを使用することで、機器ベンダーの独自仕様から解放され、設備同士の相互連携が容易になります。
- 2 組み合わせ自由なフォーマット変換と出力プロトコル**

OPC UAサーバーから取得したデータは本製品で任意のデータ構造に再加工し、JSON/CSV/XMLなどの標準的なフォーマットへ変更後、お客様保有のシステムまたはサードベンダー製のサービスに送信することができます。
- 3 あらゆる情報モデルに対応**

OPC UAサーバーは目的によって公開するデータ構造(情報モデル)が異なります。本製品は、OPC UAの仕様に完全準拠し、データ構造が異なるOPC UAサーバーを複数接続できるように設計されています。



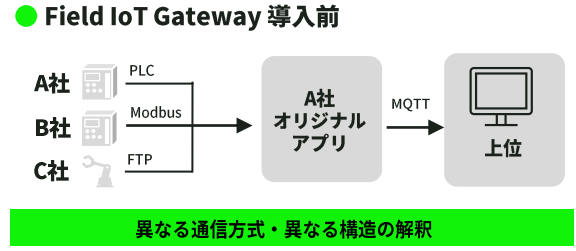
**設定はすべてWEB UIから**

OPC UAサーバーとの接続、データの取得単位、変換方法、本製品の設定はすべてWEB UIから一括操作。設定はCSV形式でインポート/エクスポートすることができます。

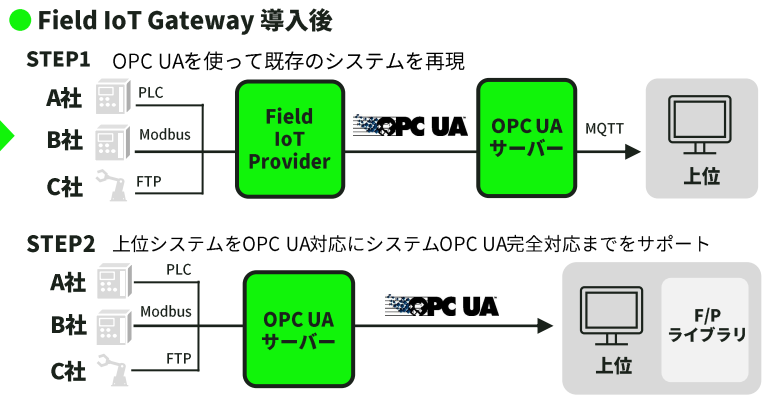
**カスタム変換で柔軟な通信を!**

稼働システムが本製品とマッチしてなくても大丈夫。お客様保有のシステムへ送信するデータフォーマットを、ローコードで実装できます。

対応OS: Windows 10/11 Pro 64bit CPU: Intel 8コア以上のx64CPU メモリ: 16GB以上 ストレージ10GB以上の空き容量 関連商材: Field IoT Gateway



お客様保有のシステムをOPC UA対応に本製品は独立したアプリケーションですが、ソフトウェアの一部を使用してお客様保有のシステムに組み込めるAPIを用意しています。

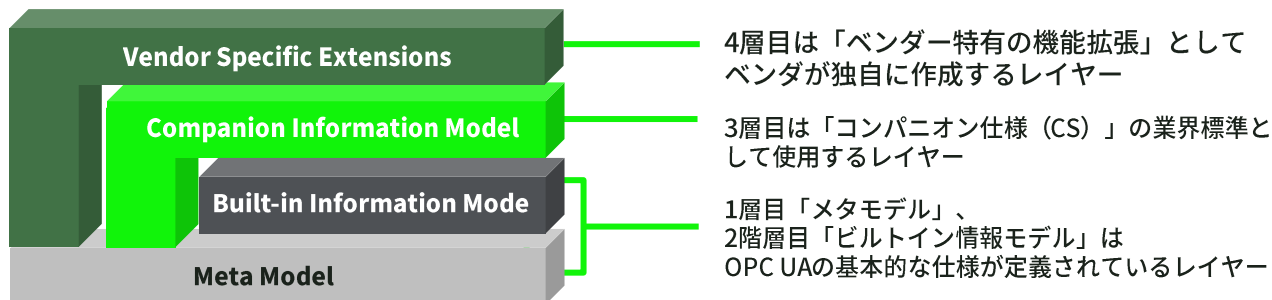


# Field IoT ソリューション

## 情報モデルとは？

情報モデルとは、マルチベンダー間の情報連携を実現するために、連携したい情報の分類や意味づけなどが定義された枠組みのようなものです。

OPC UAの情報モデルは4層で構成され、3層目の「Companion Information Model」は**コンパニオンスペック (CS)**とも呼ばれます。コンパニオンスペックはドイツ機械工業連盟やドイツ自動車工業会など、それぞれの業界を代表する団体がOPC協議会と共同で作成されるため、実質上の業界標準として使用されます。



## Field IoT ソリューションでできること

### 高度な柔軟性とスケーラビリティを提供します

Field IoT GatewayとField IoT Providerを活用することで、市場のニーズや要求に応じて生産ラインを迅速に調整したり、新しい製品の導入をスムーズに行ったりすることが可能になります。

#### 1. OPC UAで通信の統一化

通信プロトコルをOPC UAに統一することで、設備の導入・取替に時に発生する**上位システム側のプロトコル対応が不要になり、システム改修コストが削減**できます。

#### 2. 情報モデルでデータフォーマットを標準化

設備から取得したデータは、メーカーごとにデータのフォーマットが異なるため、取得データを見る化・分析するにはデータを活用できる状態に加工する必要があります。  
Field IoT Gatewayは**情報モデルを活用して標準化されたフォーマットでデータを収集**するため、データ加工は不要です。

#### 3. 全設備・システムとデータ連携が可能に

Field IoT Gatewayは機器の様々なインターフェースと接続ができ、Field IoT Providerは上位システムの様々なインターフェースに出力ができます。

**OPC UA非搭載の機器や上位システムとデータ連携**ができ、工場にあるデータの見える化・分析が実現できます。

